

令和6年度 いちごいんごぐみ 1学期カリキュラム

	立案	反省
目標	・園の生活に慣れ、先生と楽しく安心して過ごす。 ・少しずつ生活習慣を身に着けていく。	A.保護者と離れる時に泣いてしまう子もいるが、離れてしまえば楽しく過ごせている。 B.1日の流れは少しずつ身についてきた。援助が必要な子には個別に対応し、物や動作の単語も一緒に教えながら促している。
健康 〈生活〉	[排泄・手洗い] ・活動の前後などこまめにトイレに行き、トイレで排泄する。 ・お家の人と相談しながら、個々に合わせてパンツで過ごすようにしていく。 (満3歳になったらパンツに移行する。) ・腕まくりをして、丁寧に手洗いする習慣をつけていく。 ・手洗い後は水切りをして、タオルやハンカチで拭く。 ・蛇口を自分でひねって、水を出す、止めるが出来るようにする。 [着脱] ・帽子は自分で被れるように被り方を教えていく。 ・着替えは保育者が補助しながら1人で出来る部分を増やす。 ・「上履きをしまってから靴を出して履く」「靴を脱いだら上履きに履き替える」を習慣づくようにしていく。 [食事] ・みんなで楽しく美味しく食べられるような雰囲気作りをしていく。 (声掛けや音楽など。) ・食事のマナーを知る。 (姿勢、お皿の置き方、手を添える等。) ・スプーンやフォークを使って食べる。 ・食後は口をゆすぐ。コップの中の水切りも声を掛けていく。 [午睡] ・睡眠に入りやすいように環境づくりをしていく。 (カーテン、音楽など/1時間位)	A.トイレに行くことを嫌がらず、習慣になってきた。 A. A.手洗いも習慣づいてきている。 A. B.水を出すことは出来るが、止めるのが難しい子もいる。 B.被る向きが反対になってしまうこともあるが上手になってきた。 A.自分で着替えようとする意欲があるので難しい所だけ手伝っている。 B.上履き、靴の着脱は上手になってきたが、出し入れはもう少し。 A. B.その都度声をかけながら、身に着けている。 A. A. A.寝付きがとても早く、一人で寝ることができる。

健康 〈運動〉	・たくさん体を動かす機会を作り、体の土台作りをする。 ・安全面に気を付けながら、外遊びの時間を多く作る。 ・園舎周りやゆとろぎなどお散歩に行き、たくさん歩く機会を作る。	A.体を動かすことが好きな子が多い。 A. A.
人間関係	・保育者に親しみをもち、友達と一緒に過ごし、人との関わりを大切にしていく。 ・在園児との交流を持てるように予定を確認し、一緒に混ぜてもらおう。(こいのぼり集会、散歩等。)	A.友達と手を繋いだり、一緒に遊ぶことを楽しんでいる。 A.在園児だけでなく、ころころぐみやぶどうぐみとも交流する機会を作ることが出来た。
言葉	・基本的な挨拶を覚え言えるようにしていく。 ・名前を呼ばれたら、手をあげて元気に返事をする。 ・友達同士で伝わらないことがあったら、保育者が代弁していく。 ・「いれて」「いいよ」「かして」「ありがとう」などのやり取りは保育者が見本となり、子どもが言えるようにしていく。 ・保育者もたくさん声を掛け、子どもたちの語彙を増やしていくようにする。	A. A. A. A.
環境	・身近にある花や野菜に興味を持てるように、声を掛けていく。 ・飼育物に親しみを持って接する。 ・朝の自由遊びは室内で子どもに合わせて提供していく。	A.園庭や、散歩のときに虫や花を観察したり、他クラスが育てている野菜の成長も興味を示している。 A.
表現 【歌】	・楽しい雰囲気です歌っていく。	A.人数が少なかったので、リトミックや英語、他クラスに行った時に楽しんだ。
表現 【絵画制作】	・楽しく行っていく。 ・製作で使う物の扱い方を知る。	A.興味を持ち、楽しみながら行ってくれた。 A.

《4月、いちご・りんごぐみ 入園してからの流れ》

4/10(水)・11(木) 10:30降園

4/12(金)～16(火) 11:30降園

4/17(水)～ 1日保育スタート

※4月・5月は1名のため、担任1人で保育。

※おやつは食べていません。

いちごぐみ(2学期～)

9月2人・10月1人・11月1人・未定1人(入園予定)

人数	いちごぐみ	りんごぐみ
4月	1人	0人
5月	1人	0人
6月	2人	1人
7月	2人	1人

※りんごぐみ 6/18～ 週5回→1人

令和6年度 いちごいんどぐみ 2学期カリキュラム反省

	立案	反省
目標	・元気に挨拶をする。 ・たくさん体を動かす。 ・新しいお友だちは園の生活に慣れ、先生や友だちと楽しく安心して過ごす。 - また、少しずつ生活習慣も身に着ける。	A.挨拶の習慣がついてきた。 A. A.1人1人、とても成長を感じる2学期だった。
健康 〈生活〉	[排泄・手洗い] ・排泄時、パンツやズボンを自分で上げ下げ出来るようにしていく。 ・お家の人と相談しながら、トイレで排泄出来るように促していく。 (満3歳になったらパンツに移行する。) ・手洗い前後の腕まくりや水切り、タオルで拭くなどを習慣づくように声をかけていく。 ・手を洗う時は適量の石鹸を出し、水は細目に止めながら洗えるようにしていく。 - また蛇口を自分でひねって、水を出す、止めるを出来るようにする。 [着脱] ・上履きは靴箱にしまってから靴を履くなどの順序が習慣づくように声を掛けていく。 ・衣類の着脱は個々に合わせて援助して、1人で出来る部分を増やす。 (上着の着脱も教えていく。) [食事] ・支度や片付けをスムーズに出来るように声を掛けていく。 ・姿勢、スプーン、フォークの持ち方や皿に手を添えて食べる等の食事のマナーを伝えながら楽しく食事をする。 ・苦手な物も少しずつ食べられるように励ましていく。 ・口をゆすいだ後、コップの水切りも	A.3学期はシャツをしまえるように頑張りたい。 A. B.腕まくりは習慣付いてきたが、水切りがもう少し。 B.水を止めるのがまだ難しい子もいる。 石鹸を出しすぎる子はいなくなった。 B.3学期も引き続き声を掛けていく。 A.上着の着脱も上手になってきた。 A. A. A.見た目で嫌な物は食べない子が何人かいたが、1口頑張ろうという気持ちが出てきた。 B.3学期も引き続き声を掛けていく。

	忘れずに行う。 [午睡] ・睡眠に入りやすいように環境づくりをしていく。 (カーテン、音楽など/1時間位)	A.
健康 〈生活〉	[整理整頓] ・遊びを移行する際には、自分の使っていたものを一緒に片付けてから次の遊びに移れるように声を掛けていく。	B.こちらから声を掛ければ出来るようになってきた。3学期も頑張りたいところである。
健康 〈運動〉	・走る機会を増やしていく。 (しっぽ取り、おにごっこ等) ・マット、鉄棒、跳び箱ジャンプ等の簡単な運動やお部屋での柔軟体操も取り入れる。 ・ミニ運動会に向けて、玉入れ・かけっこ・サーキットも行っていく。 ・たくさん歩く機会を作る。	A. A.天気の悪い日に行ってきた。3学期はホールで鉄棒マットなども取り入れていきたい。 A.運動会に向けてもたくさん走ることが出来た。 A.
人間関係	・友だちとの関わりが増えるように、保育者も間に入りながら働きかけていく。おもちゃの取り合いなどのトラブルは様子を見守りつつ、お互いの気持ちを代弁し、援助していく。 ・在園児と交流が持てるように計画する。 (お散歩、園外保育、部屋に遊びに行く)	A.人数が増えたことで友だちとの関りも自然と増えた。トラブルも多々あったが手が出ることはなく、保育者に助けを求めながら言葉と一緒に気持ちを伝えてきた。困っている子に気づき、保育者に教えてくれる子もいた。 A.ぶどうぐみと沢山交流できて良かった。
言葉	・元気に挨拶や返事をする。 ・保育者は意識的にたくさん言葉を掛け、言葉や語彙が増えていくようにする。 ・友達同士伝わらないことがあったら、保育者が代弁していく。 ・発表会に向けて、自分の名前を言う機会を作る。 ・困ったときは、相手に言葉で伝えられるように促していく。 ・「いれて」「いいよ」「かして」などの言葉のやり取りを増やしていく。	A. A. A.友だちが教えてくれることもあった。 A. B.なにかしらのアクションでこちらに伝えてくれるので、保育者が間に入り代弁することもあった。 A.
環境	・生き物や植物に触れる機会を作っていく。	A.

	子どもと一緒に季節の変化を感じられるように季節の変化に目を向けていく。	A.公園に遊びに行くことが多かったので、どんぐりを拾ったり、落ち葉で遊びながら季節の変化に気付けた。			
表現 【歌】	- 声を出して、楽しい雰囲気です歌っていく。 - 模倣遊びやリトミックも取り入れる。	A. A.			
表現 【絵画制作】	- 子どもにあった制作を提案し、楽しく行えるようにしていく。 - 製作で使う物の扱い方を知る。	A. A.のり、ハサミにも挑戦できた。			
人数	9月	10月	11月	12月	
いちご	4人	6人	9人	11人	
りんご	1人	2人	2人	1人	

令和6年度 いちごいんどぐみ 3学期カリキュラム反省

	立案	反省
目標	・身の回りのことを自分で行えるようにし、出来る部分を増やしていく。 ・たくさん体を動かす。 ・自分から元気に挨拶をする。 ・簡単なルールのある遊びを取り入れ、みんなで遊ぶ楽しさを味わう。 ・色々な友だちと関わる機会を増やす。	A.支度がとてもスムーズに行えるようになった。 A.お散歩や園庭遊びをたくさん行えた。 A.他のクラスの先生にも出来るようになってきた。 A.椅子取りゲームや爆弾ゲームにも挑戦できた。 A.ぶどうぐみ・ころころぐみと沢山交流できた。
健康 〈生活〉	[排泄・手洗い] ・うんちを自分で拭く練習をする。こちらでも確認していく。 ・水切りが習慣づくように声を掛けていく。 ・水を出したら、こまめに止めて最後はしっかり止められるようにする。 [着脱] ・上履きや靴の左右、服のたたみ方と脱ぎ方は引き続き一緒に行っていく。 また、家庭とも協力して自分のことは自分で出来るように促し、励ましていく。 [食事] ・口をゆすいだ後、コップの水切りが習慣づくように引き続き声を掛けていく。 ・量を調節しながら時間内に食べきれるように声を掛けていく。 ・苦手な物も1口は、自分で食べる。 [午睡] ・睡眠に入りやすいように環境づくりを	A. A.水切りを意識して行うようになった。 A. B.上履きや靴の左右は常に声をかけてきたが引き続き確認が必要。服のたたみ方は、こちらから声をかければ出来るようになってきた。 A. A. A.1口は頑張って食べる事が習慣づいてきた。 A.

	していく。 (カーテン、音楽など/1時間位)	
健康 〈生活〉	[整理整頓] ・教具やおもちゃなどで遊ぶ際は、出しすぎに気を付ける。また遊びを移行する際は片付けてから次の遊びをする。	B.片付けることに意識が向くように声をかけてきた。
健康 〈運動〉	・外遊びの前にマラソンやかけっこなど走る機会を増やしていく。 ・床運動や柔軟体操は隙間時間を利用して日々取り入れるようにする。 ・鉄棒やジャングルジムを行う時間を作り腕の筋力をつける。 ・たくさん歩く機会を作る。	A.園舎周りにも挑戦できた。 A. A.ジャングルジムは全員が上り下りできるようになった。 A.長距離でも間が空かないように歩くことが出来た。
人間関係	・ケンカやトラブルになった時は、相手の気持ちに気付けるように声を掛けていく。 ・子どもたち同士の仲がより深まるように工夫しながら援助していく。 ・進級に向けて在園児やぶどうぐみ、ころころぐみと交流する。	A.トラブルが少なかった。 A. A.たくさん交流できた。
言葉	・身近な人に自分から元気に挨拶をする。 ・手が出る前に、嫌な事や困ったことがあった時は言葉で伝えられるように保育者が見本となり、援助していく。 ・「いれて」「かして」「いいよ」などの言葉のやり取りを増やしていく。 ・集団の中であまり目立たない子に対しては保育者から声を掛け、発信する機会を作っていく。 ・中にはまだ言葉がはっきりしない子もいるので、会話を楽しめるようにしていく。	A. A.手が出る人がいなかった A.その時に使う言葉を選んで会話が出来た。 A.自分からの発信が難しい子には朝の会や自由遊びの時に声を掛け、発言する機会を作った。 A.
環境	・生き物や植物に触れる機会を作っていく。 ・子どもと一緒に季節の変化を感じられるように季節の変化に目を向けていく。	A.ヒヤシンスの成長を楽しんでいた。 A.お散歩で霜柱を見つけたり、北風を感じたり冬を感じる事が出来た。

表現	・声を出して、楽しい雰囲気です歌っていく。			A.
【歌】	・模倣遊びやリトミックも取り入れる。			A.劇遊びも楽しめた。
表現	・子どもにあった制作を提案し、楽しく			A.
【絵画制作】	行えるようにしていく。			A.
	・製作で使う物の扱い方を知る。			
人数	1月	2月	3月	
いちご	13人	13人	13人	
りんご	1人	1人	1人	